CASIO

P

3274*JA

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

コイン型キャパシタの取り扱いについて

本機で使用している充電式のコイン型キャパシタを取り外した場合は、誤ってコイン型キャパシタを飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

コイン型キャパシタは小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
● コイン型キャパシタ交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● ＋ 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

● 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。 汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
● バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないよう注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

● 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差± 30 秒以内
基本機能：時刻表示＝時・分・秒
午前／午後（PM）／ 24 時間制表示（24H）
日付表示＝日・曜日、オートカレンダー
アラーム機能：時刻アラーム 5 本
セット単位＝時・分
電子音＝ 20 秒間
時報　毎正時に 2 回電子音で報知
ストップウオッチ機能：計測単位＝ 1/100 秒
計測範囲＝ 59 分 59 秒 99（60 分計）
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、1・2 着同時計測
タイマー機能：セット単位 =1 分
計測範囲 =24 時間
計測単位 =1 秒（タイムアップを 10 秒間の電子音で報知）
そ の 他：自動復帰機能
12/24 時間制表示切替え
モニターアラーム
充電必要マーク表示
使用キャパシタ：コイン型キャパシタ
持続時間：フル充電から止まるまで約 14 日間
（光に当てないで、1 日あたりアラームを 20 秒間使用した場合）
フル充電から止まるまで約 12 日間
（光に当てないで、1 日あたりアラームを 100 秒間使用した場合）

本製品で使用しているキャパシタについて

●専用のコイン型キャパシタを使用しておりますので、お客様はキャパシタを取り外さないでください。専用でないキャパシタを入れると時計の破損の原因になります。

●キャパシタは、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電（特に完全放電）を繰り返すことにより性能が劣化して、充電時間が長くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

Printed in China　MA1107-A

この時計は光エネルギーによって動きますので電池は不要です。光エネルギーはソーラーパネルによって電気エネルギーに換えられ、キャパシタに蓄えられますので光を当てなくても約 14 日間（フル充電時）使用することができます。

操作のしくみと表示の見方

Ⓑ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※各モードで Ⓐ または Ⓒ ボタンを押した後、Ⓑ ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。

時刻モード





★ 12/24 時間制表示切替えについて
時刻モードで、Ⓒ ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示（“24H”が点灯）が切り替わります。

★ 曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

Ⓑ

アラームモード



Ⓑ

ストップウオッチモード



Ⓑ

時刻セットモード



Ⓑ

タイマーモード



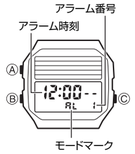
アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓑ ボタンを押し、アラームモードにします。
本機には、時分を設定できるアラームが 5 本あります。設定した時刻になると 20 秒間電子音が鳴ります。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

● アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押します



➡「アラーム 1 → 2 → 3 → 4 → 5 →時報→アラーム 1・・・」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します



➡「時」が点滅します。
※アラーム ON マークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。

(3) セット箇所を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

※ Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時→分→ ON →（セット終了）→時→分・・・」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

(4) 点滅箇所のセット

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。

(3) ～ (4) の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または 24 時間制にご注意ください。
※基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

● アラーム・時報の ON ／ OFF 設定

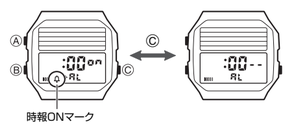
準備：アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。
また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

(1) **アラームを鳴らしたいときは Ⓐ ボタンを 3 回押します**
時報を鳴らしたいときは Ⓐ ボタンを 1 回押します

➡表示がオン（on）点滅状態に切り替わり、オン／オフ設定の状態になります。
※このとき、設定は自動的にオンになります。

(2) **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、オン（on）／オフ（--）が切り替わります。



(3) **Ⓐ ボタンを押します**

➡点滅が止まり、セット完了です。

● 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

● モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

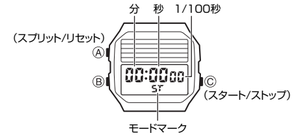
ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓑ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。
ストップウオッチは 1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99（60 分計）まで計測できます。
計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

● 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



● 計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPLIT”マーク点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
● 計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

★ 通常計測

Ⓒ スタート → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測…ストップ後リセットせずに Ⓒ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

★ スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓒ スタート → Ⓐ スプリット計測 → Ⓐ スプリット解除 → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

★ 1・2 着同時計測

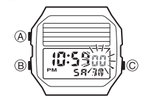
Ⓒ スタート → Ⓐ 1 着ゴール（1 着タイム表示） → Ⓒ 2 着ゴール → Ⓐ 2 着タイム表示 → Ⓐ リセット

時刻・日付の合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓑ ボタンを押し、時刻セットモードにします。
※時刻セットモードのまま 1 ～ 2 分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

●「秒」合わせ……30 秒以内の遅れ／進みの修正

(1) **時刻セットモードのとき、時報に合わせて Ⓒ ボタンを押します**

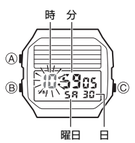


➡「00 秒」からスタートします。
※秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。

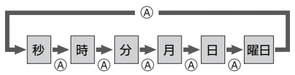
(2) **Ⓑ ボタンを押すとセット完了です（時刻モードに戻ります）**

●「時刻・日付」合わせ

(1) **時刻セットモードのとき、Ⓐ ボタンを押します**



➡Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(2) **Ⓒ ボタンを押します**



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または 24 時間制にご注意ください。
※時刻モードのとき「月」は表示されませんが、「月」は正しく合わせてください。
大の月、小の月を自動判別します（オートカレンダー）。
※うるう年の 2 月 29 日は修正が必要です。

(3) **Ⓑ ボタンを押すとセット完了です（時刻モードに戻ります）**

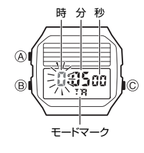
タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓑ ボタンを押し、タイマーモードにします。
タイマーは 1 分単位で 24 時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10 秒間電子音が鳴ります。

● タイマー時間のセット

(1) セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、Ⓐ ボタンを押します



➡「時」が点滅します。

(2)「時」をセットする

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。
※ 1 分単位で 24 時間までセットできます。
※タイマー時間を 24 時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。

(3)「分」をセットする

Ⓐ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓒ ボタンでセットします。

(4) セットを終わる

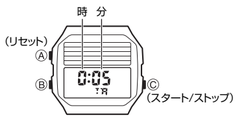
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

● タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は 1 秒単位で行います。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★計測中に Ⓒ ボタンを押すと一時的に計測が止まります、もう一度 Ⓒ ボタンを押すと計測が再開されます（競技中など、一時的に計測を止めたいときに便利です）。

● タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

● 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

電源について（充電のしかた）

● 使いはじめのときは、光（蛍光灯下の室内の光程度＝下表参照）が当たるとクイックスタート回路が作動し、約 3 秒後に時計が動き出しますので、時刻・日付合わせを行ってください（「時刻・日付の合わせ方」参照）。なお、動きはじめのとき、正規の表示になっていない場合がありますが、時刻・日付合わせにより正常な表示に戻ります。
● 安定した状態でお使いいただくためには、本機に光が当たるようにしてお使いください（「●充電の目安」参照）。
● 腕につけているときは、なるべく袖口から時計が出るように使用してください。また、時計を外しておくときは、できるだけ明るい所に置いてください。
● 充電容量が少なくなると、充電必要マーク“”が点灯します。
● “”マークが点灯してから光に当てないでそのまま使用した場合、約 3 日で時計機能が停止します。“”マークが点灯したときは速やかに充電を行ってください（「●充電の目安」参照）。
● “”マークが点灯すると、アラームや時報などの報音はしません。また、表示が薄くなることがあります。



● 充電の目安

• 1 日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

※ 1 日あたりアラームを 20 秒間使用した場合。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	約 5 分
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	約 24 分
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	約 48 分
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	約 8 時間

※こまめに充電を行えば、安定した状態でご使用いただけます。

• 各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間	
	時計機能停止から“”が消えるまで ➡	フル充電まで
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	約 1 時間半	約 1 時間
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	約 7 時間	約 5 時間
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	約 14 時間	約 9 時間
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	約 140 時間	約 90 時間

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

● 充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。
● 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
● 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
● 直射日光が長く当たって、高温になる所
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

● ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
● 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
● バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉
● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  • 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉
● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉
● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。